

送辞

冬の寒さも和らぎ、生命の息吹が感じられる季節になりました。

卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

さて、法政大学中学校を卒業される先輩方は今、どのような景色を頭の中で思い浮かべていらっしゃるでしょうか。きっと、この中学校で過ごした仲間とのかけがえのない思い出や、これからの期待と希望に溢れた未来など、様々な景色を思い浮かべていらっしゃると思います。特にこの一年は、これまで猛威を振るっていたコロナウイルスの感染状況が落ちついていく中で、徐々に以前のような当たり前の日常を取り戻すことができ、より一層楽しい一年になったのではないのでしょうか。

先輩方と過ごした二年間を振り返ると、先輩方は右も左もわからない私たちに優しく、そして丁寧の一つ一つのことを教えてくださいました。学校生活や部活動で私たちが困った時には、いつも先輩方が親身になって一緒に悩んでくださり、アドバイスをしてくださいました。私たちは、そのような先輩方の姿勢から多くのことを学びました。先輩方から学んだことを受け継ぎ、これからは私たちがこの法政大学中学校を引っ張っていきます。

先輩方はこの先、高校という新しい環境に飛び込み、壁に突き当たることもあると思います。しかし、皆さんにはこの中学校で培った経験と、共に成長してきた仲間がいます。そのことを忘れず、どんな壁も乗り越えていってください。私たちは先輩方を心から応援しています。

最後になりますが、卒業生の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

二〇二四年三月十六日

在校生代表

上地 健斗